

受験番号	
名前	

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

大造じいさんは、夏のうちから心がけて、タニシを五俵ばかり集めておきました。そして、それを、ガンの好みそうな場所にばらまいておきました。①どんなあんばいだったかなと、その夜行ってみると、案の定、そこに集まって、さかんに食べた形跡がありました。

その翌日も、同じ場所に、うんとこさとまいておきました。その翌日も、そのまた翌日も、同じようなことをしました。

ガンの群れは、思わぬごちそうが四、五日も続いたので、ぬま地のうちでも、そこが、いちばん気に入りの場所となったようでありました。

大造じいさんは、うまくいったので、②会心のえみをもらいました。

そこで、夜の間に、えさ場より少しはなれた所に③小さな小屋を作って、その中にもぐりこみました。そして、ねぐらをぬけ出して、このえさ場にやって来るガンの群れを待っているのです。

【あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。

ぬま地にやって来るガンのすがたが、かなたの空に黒く点々と見えました。先頭に来るのが、残雪にちが

問一 ①「どんなあんばいだったかな」とありますが、大造じいさんがタニシをばらまいておいた場所はどのような感じか。 ()

・ガンが () を () があった。
問二 ②「会心のえみをもらいました」とありますが、それはなぜですか。当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア ガンが自分のあげたごちそうに喜んでくれたから。 イ ガンがたくさんタニシを食べてくれたから。

ウ ガンが大造じいさんになついでくれそうだから。 エ ガンを一つの場所に集めるのに成功したから。

問三 ③「小さな小屋を作って」とありますが、大造じいさんはなんのために小屋を作ったのですか。 ()

問四 ガンの群れの先頭にいたのは、何でしたか。 ()

問五 【 】で囲んだ部分から、大造じいさんのきんちちょうした様子が分かる一文の最初の七字を書きぬきなさい。 ()

問六 ④「ぐっと、急角度に方向を変えると、く着陸しました」とありますが、残雪が方向を変えたのはなぜですか。 ()

問七 ⑤「ううん」とうなってしまったのはどんな気持ちからですか。当てはまるものを一つ選び、記号に丸をつけなさい。 ()

- ア あかつきの光がいつもよりきれいだったから。 イ 残雪のせいでガンをしとめそこなつてくやしから。
- ウ りょうじゅうのたまが当たらず、がっかりしたから。 エ 広いぬま地の向こうがよく見えなくて困ったから。

いありません。

その群れは、ぐんぐんやって来ます。「しめたぞ。もう少しのしんぼうだ。あの群れの中に一発ぶちこんで、今年こそは、目にも見せてくれるぞ。」りょうじゅうをぐつとにぎりしめた大造じいさんは、ほおがびりびりするほど引きしまるのでした。

ところが、残雪は、油断なく地上を見下ろしながら、群れを率いてやって来ました。そして、ふと、いつものえさ場に、昨日までなかった小さな小屋をみとめました。「様子の変わった所には、近づかぬがよいぞ。」かれの本能は、そう感じたらしいのです。④ぐっと、急角度に方向を変えると、その広いぬま地のずっと西側のはしに着陸しました。

もう少しでたまのとどきよりに入ってくる、というところで、またしても、残雪のためにしてやられてしまいました。

大造じいさんは、広いぬま地の向こうをじっと見つめたまま、

「⑤ううん。」
と、うなつてしまいました。】

(椋 鳩十「大造じいさんとガン」より)

受験番号	
名前	

問六 (B) にあてはまる言葉を、文章全体をよく読んで考えて四字で答えなさい。

問七 この文章で、筆者が言いたいこととして最も適当なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 日本は「成長社会」から「成熟社会」へと変化し、消費生活も豊かになった。
- イ 二一世紀の「成熟社会」では、「情報処理能力」は役に立たないものとなった。
- ウ 価値観が多様化した現在では、「情報編集力」が人生を豊かにする力となる。
- エ 「成長社会」においては、頭をやわらかく使って考えることが大切である。

三 次の各文のぼう線部の敬語には誤りがあります。もとの文の意味を変えずに、正しく改めなさい。

- ① この本は校長先生が生徒にくれたものです。
()
- ② これはどなたがいただく食事ですか。
()
- ③ 先生が私たちの教室に参りました。
()

四 次の①～⑤について、ア～オの中で、他と違う意味・用法のもの一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ①
 - ア ぼくはきらいな食べ物はない。
 - イ 私は決してうそをつかない。
 - ウ だれも手をつけていない食べ物。
 - エ あきらめないでがんばる。
 - オ このことはわすれてはならない。
- ②
 - ア 秋になり、コスモスの花が咲きました。
 - イ 彼は歌うことが上手である。
 - ウ 本場のカレーが、食べたい。
 - エ その話ですが、私も聞きました。
 - オ 鉄道が、時間通りに運行されている。

五 次の四つの漢字のある部分に同じ部首を付け加えると、それぞれ別の漢字ができます。その部首名をひらがなで答えなさい。

- ① 早・化・央・右 ()
- ② 首・貴・車・米 ()

六 次のぼう線部の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 酸味の強いみかん。()
- ② 童話を読む。()
- ③ 体が弓なりに反る。()
- ④ 借家に暮らす。()
- ⑤ 土地を分割する。()

